令和3年度（2021年度）

エコアクション２１

環境経営レポート

対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

®環境省
エコアクション21
認証番号0007179

城陽ダイキン空調株式会社

発行日：令和4年（2022年）6月1日

１．ごあいさつ

当社は、ダイキン工業株式会社の代理店として、空調を核とし、その関連設備機器の販売、設計・施工、メンテナンスまで一貫した体制で事業を運営しております。
昭和４１年創業以来、「誠実・技術・堅実」を経営理念に、お客様第一の姿勢に徹し、多くのお客様に信頼を得て、設備の専属パートナーとしてお客様の将来の利益を踏まえた提案を行い、問題解決のお手伝いをしております。
近年は、機能面はもちろん、コスト面、環境面、安全面に配慮した製品のニーズが高まってきております。メーカーと一体となり、設計・施工、メンテナンスの全般にわたって、総合的な設備診断を行って、お客様にご満足いただける最適なシステムをご提案申しあげております。
是非、ご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

２．社是・社訓

社　是

誠　実　と　信　用
熱　意　と　創　意
研　鑽　と　協　力

社　訓

売ろう信用と技術
見せよう誠意と実力
得よう信頼と繁栄

３．環境方針

城陽ダイキン空調株式会社

環　境　経　営　方　針

＜基本理念＞

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が、地球上に生きる私たち人類共通の重要課題と考えています。

私たちは、空調その他関連設備機器事業を通じて、環境負荷の低減と、環境に配慮した製品の販売並びに施工・サービスを目指し、三じつ主義（誠実･技術･堅実）に則り、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組を進めてまいります。

＜行動指針＞

１．次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

① 資源及びエネルギーの消費を適正化し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。

１．電力使用量の削減

２．資源（ガソリン）使用量の削減

② 廃棄物の削減及び再資源化の推進に努めます。

１．一般及び産業廃棄物の分別の徹底

２．紙廃棄物の削減（電子媒体活用によるペーパーレス化推進等）

３．３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）率の向上

③ 水使用量の削減に努めます。

④ 事務用品のグリーン購入を拡大します。

⑤ 環境に配慮した製品の販売、施工、サービスの推進を図ります。

⑥ 事業所周辺の清掃活動を積極的に行い、地域の環境改善に貢献します。

２．本方針や環境関連法規制を全従業員に周知徹底を図り、遵守します。

３．環境教育、地域活動などを実施し、全従業員の環境方針への理解と環境意識の向上に努めます。

制定日：令和２年１１月１日

城陽ダイキン空調株式会社

代表取締役社長　竹 下 洋 文

４．取組の対象組織・活動

□組織の概要

（１）名称及び代表者名

城陽ダイキン空調株式会社

代表取締役社長　竹下　洋文

（２）所在地

本　社(分室を含む)　大阪府大阪市東成区玉津１丁目１０番３０号

南大阪営業所　　大阪府堺市堺区中之町西２丁２番２４号

神戸営業所　　兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17
ニッセイ三宮ビル13階

京都営業所　　京都府京都市伏見区竹田真幡木町１２９

奈良営業所　　奈良県奈良市三条添川町9番13号

*本社においては本館と分室が存在するが、互いに至近距離にあり、また、日常業務でも区別していないため、エコアクション21の活動においても本館と分室を一括して本社とする。

（３）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者　顧問

石本　善之　TEL：06-6972-3801

担当者　　総務部　沢田　正樹　　〃

松田　歩実　　〃

（４）事業内容

冷暖房機器の卸売及び施工管理

（５）事業の規模

資本金　80百万円

売上高　9,001百万円

	本社	南大阪(営)	奈良(営)	京都(営)	神戸(営)	合計
従業員	67 名	22 名	9 名	6 名	5 名	109 名
延べ床面積	952㎥	509㎡	232㎡	264㎡	151㎡	2108㎡

（６）事業年度

４月～３月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：城陽ダイキン空調株式会社

本社（分室を含む）

南大阪営業所

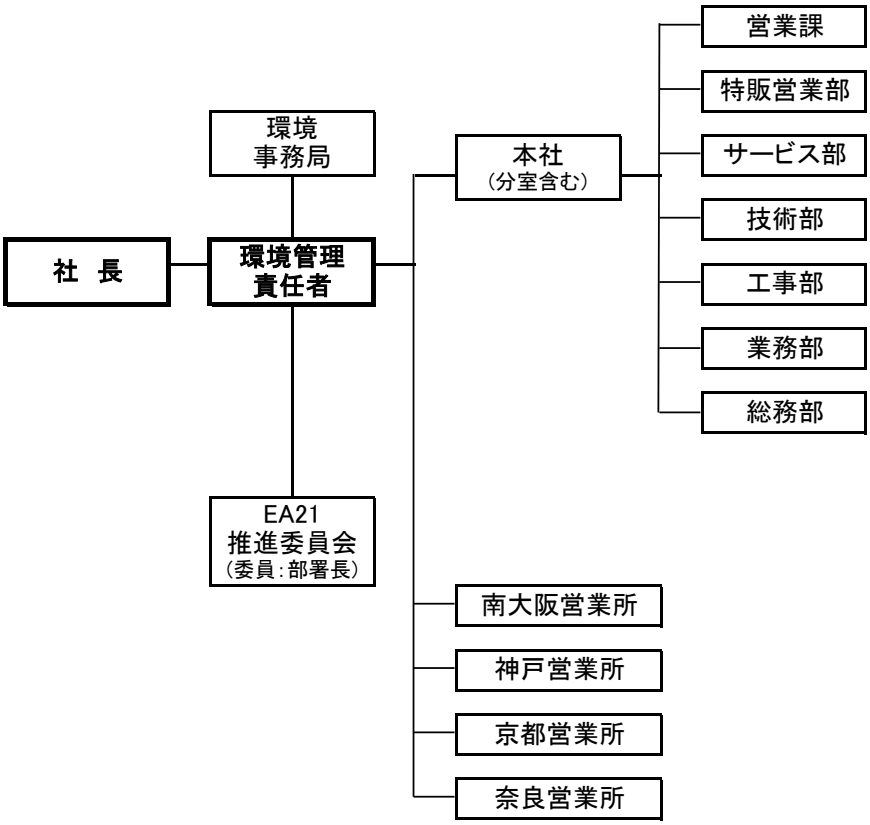
奈良営業所

京都営業所

神戸営業所

活動：　冷暖房機器の卸売及び施工管理

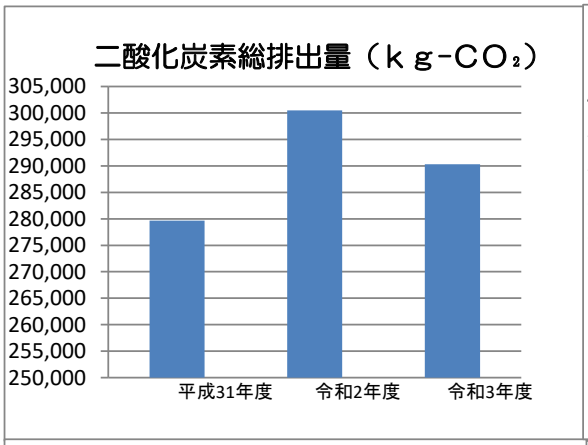
5．エコアクション21 実施体制

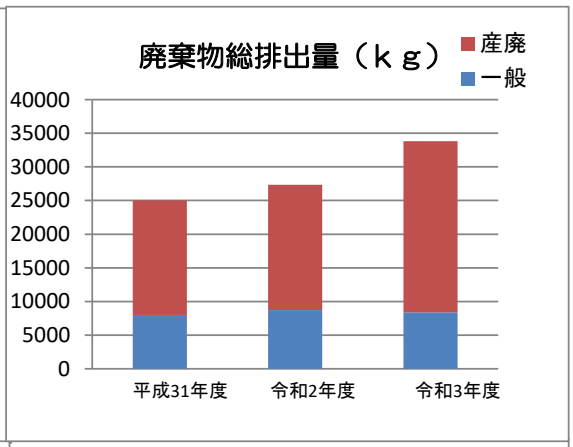


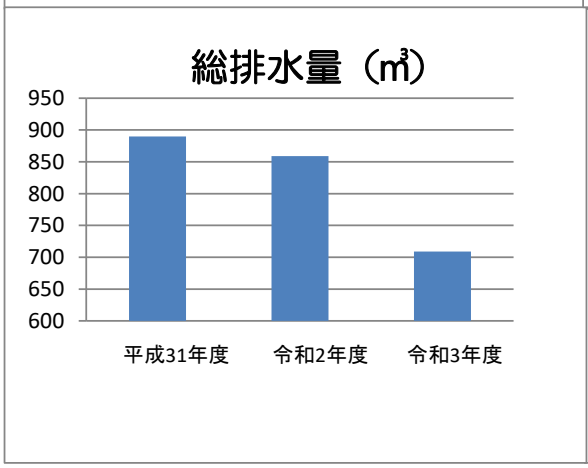
	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認、環境活動レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・年間活動計画/実績記録表を承認、各手順書の内容の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 ・各部門の問題点の発見･是正･予防処置の実施の確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成、環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部 署 長 (EA21推進委員)	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・会社周辺地域の清掃活動への参加

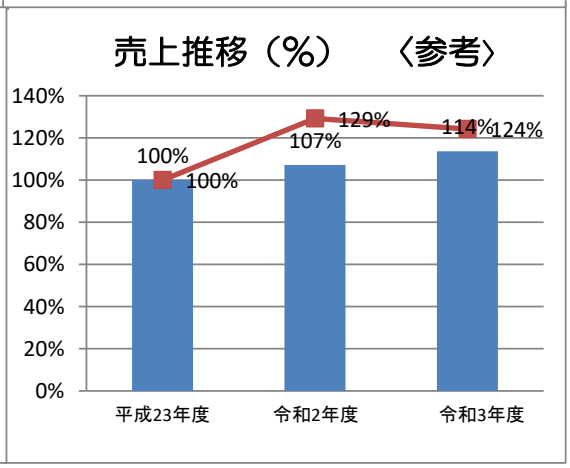
６．おもな環境負荷の実績

項　目	単位	平成３１年度	令和２年度	令和３年度
二酸化炭素総排出量 電力のCO_2調整後排出係数 ０.５１６kg-CO_2／ｋＷｈ	kg-CO_2	279,677	300,484	290,327
廃棄物総排出量	kg	25,032	27,140	33,834
（一般廃棄物排出量）	kg	8,017	8,711	8,364
（産業廃棄物排出量）	kg	17,015	18,630	25,470
水使用量	㎥	890	859	709









7．環境目標とその実績

□ 全社合計

項目 ＼ 年度			平成23年 基準年度	令和３年 目標	令和３年 実績	結果	令和４年 目標	令和５年 目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減（事務所）(*1)	基準年比	（基準年度H25年）	96%	96%	未達成	96%	96%
		(kWh)	213,327	204,794	205,515		204,793	204,793
		(kg-CO_2)	110,077	105,673	107,279		105,674	105,674
	ガスの削減（事務所）	基準年比	-	84%	66%	達成	83%	82%
		(㎥)	148	125	98		124	121
		(kg-CO_2)	307	258	204		255	252
	自動車燃料の削減（事務所）	基準年比	（基準年度H26年）	94%	97%	未達成	93%	93%
		(L)	81,135	76,267	78,756		75,456	75,456
		(kg-CO_2)	188,368	177,066	182,844		175,182	175,182
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減（事務所）	基準年比	（基準年度H23年）	91%	47%	達成	91%	91%
		(kg)	17,610	16,025	8,364		16,025	16,025
	産業廃棄物の削減（建設現場）(*2)	基準年比	（基準年度H26年）	98%	164%	未達成	98%	98%
		(kg)	15,529	15,218	25,470		15,218	15,218
水使用量削減	水道水の削減（事務所）	基準年比	-	93%	88%	達成	92%	91%
		(㎥)	807	751	709		742	734
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	46%	未達成	55%	55%
		(円)	事務用品購入	-	771,011		-	-
			グリーン購入	-	353,244		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	6%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	10,551			
		(台)	FiveStarZEAS	-	621			
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊（建設現場）(*4)		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%
		(kg)	回収量	-	3,955		-	-
			破壊量	-	3955		-	-

(*1)電力の削減・・・・・・・・・二酸化炭素排出係数：0.516　　（kg-CO_2／kWh、関西電力、2013年調整後排出係数）

(*2)産業廃棄物の削減・・・・施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)SA（スカイエアー）比率・・・業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品（FiveStarZEAS）の占める割合

天井埋込カセット形室内機
『S-ラウンドフロー』

室外機

店舗、オフィス用エアコン「FIVE STAR ZEAS」

(*4)フロンの適正な回収と破壊…空調製品から回収したフロン（冷媒）を全量破壊することにより、オゾン層破壊対策や地球温暖化対策に寄与しています。

（参考）各事業所別の環境目標とその実績

□本　社

項目 ＼ 年度			平成23年 基準年度	令和３年 目標	令和３年 実績	結果	令和４年 目標	令和５年 目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減（事務所）(*1)	基準年比	（基準年度H25年）	96%	92%	達成	95%	95%
		(kWh)	134,114	128,749	124,040		127,408	127,408
		(kg-CO_2)	69,203	66,435	64,749		65,743	65,743
	ガスの削減（事務所）	基準年比	-	93%	39%	達成	92%	92%
		(㎥)	96	89	37		88	88
		(kg-CO_2)	200	186	77		184	184
	自動車燃料の削減（事務所）	基準年比	（基準年度H26年）	95%	101%	未達成	95%	95%
		(L)	38,363	36,445	38,893		36,445	36,445
		(kg-CO_2)	89,066	84,613	90,295		84,613	84,613
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減（事務所）	基準年比	-	91%	46%	達成	91%	91%
		(kg)	13,856	12,609	6,330		12,609	12,609
	産業廃棄物の削減（建設現場）(*2)	基準年比	（基準年度H26年）	97%	181%	未達成	97%	97%
		(kg)	11,198	10,862	20,300		10,862	10,862
水使用量削減	水道水の削減（事務所）	基準年比	-	94%	70%	達成	93%	93%
		(㎥)	595	559	419		553	553
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	46%	未達成	55%	55%
		(円)	事務用品購入	-	771,011		-	-
			グリーン購入	-	353,244		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	5%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	5,078			
		(台)	FiveStarZEAS	-	275			
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊（建設現場）		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%
		(kg)	回収量	-	3,955		-	-
			破壊量	-	3,955		-	-

(*1)電力の削減･････････二酸化炭素排出係数：0.516　　（kg-CO_2／kWh、関西電力、2013年調整後排出係数）

(*2)産業廃棄物の削減････施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)SA（スカイエアー）比率･･･業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品（FiveStarZEAS）の占める割合

□ 南大阪営業所

項目 ＼ 年度			平成23年 基準年度	令和３年 目標	令和３年 実績	結果	令和４年 目標	令和５年 目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減（事務所）(*1)	基準年比	（基準年度H25年）	97%	107%	未達成	97%	97%
		(kWh)	40,564	39,347	43,309		39,347	39,347
		(kg-CO_2)	20,931	20,303	22,607		20,303	20,303
	ガスの削減（事務所）	基準年比	-	96%	78%	達成	96%	96%
		(㎥)	31	30	24		29	29
		(kg-CO_2)	64	61	50		61	61
	自動車燃料の削減（事務所）	基準年比	（基準年度H26年）	96%	95%	達成	95%	95%
		(L)	23,575	22,632	22,398		22,396	22,396
		(kg-CO_2)	54,733	52,544	52,001		51,996	51,996
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減（事務所）	基準年比	-	94%	59%	達成	93%	93%
		(kg)	1,668	1,568	984		1,551	1,551
	産業廃棄物の削減（建設現場）(*2)	基準年比	（基準年度H26年）	96%	192%	未達成	96%	96%
		(kg)	2,370	2,275	4,550		2,275	2,275
水使用量削減	水道水の削減（事務所）	基準年比	-	97%	170%	未達成	97%	97%
		(㎥)	114	111	194		111	111
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	56%	13%	未達成	56%	56%
		(円)	事務用品購入	-	436,736		-	-
			グリーン購入	-	57,050		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	5%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	2,525			
		(台)	FiveStarZEAS	-	116			

(*1)電力の削減・・・・・・・・・二酸化炭素排出係数：0.516　　（kg-CO_2／kWh、関西電力、2013年調整後排出係数）

(*2)産業廃棄物の削減・・・・施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)SA（スカイエアー）比率・・・業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品（FiveStarZEAS）の占める割合

□ 奈良営業所

項目 ＼ 年度			平成23年 基準年度	令和３年 目標	令和３年 実績	結果	令和４年 目標	令和５年 目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減（事務所）(*1)	基準年比	（基準年度H25年）	96%	93%	達成	95%	95%
		(kWh)	18,420	17,683	17,194		17,499	17,499
		(kg-CO_2)	9,505	9,125	8,975		9,030	9,030
	自動車燃料の削減（事務所）	基準年比	（基準年度H26年）	97%	103%	未達成	96%	96%
		(L)	9,014	8,744	9,280		8,743	8,653
		(kg-CO_2)	20,927	20,299	21,545		20,090	20,090
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減（事務所）	基準年比	-	95%	86%	達成	95%	95%
		(kg)	301	286	260		286	286
	産業廃棄物の削減（建設現場）(*2)	基準年比	（基準年度H26年）	97%	-	達成	97%	97%
		(kg)	0	0	0		0	0
水使用量削減	水道水の削減（事務所）	基準年比	-	96%	68%	達成	95%	95%
		(㎥)	76	73	52		72	72
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	91%	達成	56%	56%
		(円)	事務用品購入	-	121,414		-	-
			グリーン購入	-	110,322		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	6%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	1298			
		(台)	FiveStarZEAS	-	77			

(*1)電力の削減・・・・・・・・・二酸化炭素排出係数：0.516　　（kg-CO_2／kWh、関西電力、2013年調整後排出係数）

(*2)産業廃棄物の削減・・・・施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)SA（スカイエアー）比率・・・業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品（FiveStarZEAS）の占める割合

□ 京都営業所

項目		年度	平成23年 基準年度	令和３年 目標	令和３年 実績	結果	令和４年 目標	令和５年 目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減（事務所）(*1)	基準年比	（基準年度H25年）	96%	118%	未達成	96%	96%
		(kWh)	12,111	11,627	14,297		11,626	11,626
		(kg-CO_2)	6,249	5,999	7,463		5,999	5,999
	自動車燃料の削減（事務所）	基準年比	（基準年度H26年）	96%	89%	達成	96%	96%
		(L)	4,485	4,306	3,996		4,305	4,305
		(kg-CO_2)	10,413	9,996	9,277		9,996	9,996
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減（事務所）	基準年比	-	95%	69%	達成	94%	94%
		(kg)	1,152	1,094	790		1,083	1,083
	産業廃棄物の削減（建設現場）(*2)	基準年比	（基準年度H26年）	97%	45%	達成	97%	97%
		(kg)	1,961	1,902	878		1,902	1,902
水使用量削減	水道水の削減（事務所）	基準年比	-	96%	90%	達成	96%	96%
			41	39	37		39	39
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	56%	84%	達成	57%	57%
		(円)	事務用品購入	-	73,773		-	-
			グリーン購入	-	61,853		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	9%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	809			
		(台)	FiveStarZEAS	-	75			

(*1)電力の削減・・・・・・・・・二酸化炭素排出係数：0.516　　（kg-CO_2／kWh、関西電力、2013年調整後排出係数）

(*2)産業廃棄物の削減・・・・施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)SA（スカイエアー）比率・・・業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品（FiveStarZEAS）の占める割合

□ 神戸営業所

項目 ＼ 年度			平成23年	令和３年		結果	令和４年	令和５年
			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減（事務所）(*1)	基準年比	（基準年度H25年）	97%	82%	達成	96%	96%
		(kWh)	8,118	7,874	6,675		7,793	7,793
		(kg-CO_2)	4,189	4,063	3,484		4,021	4,021
	自動車燃料の削減（事務所）	基準年比	（基準年度H26年）	96%	70%	達成	95%	95%
		(L)	5,698	5,470	3,856		5,413	5,413
		(kg-CO_2)	13,229	12,700	8,952		12,568	12,568
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減（事務所）	基準年比	-	95%	-	-	94%	94%
		(kg)	633	601	-		595	595
	産業廃棄物の削減（建設現場）(*2)	基準年比	-	0%	0%	-	0%	0
		(kg)	0	0	0		0	0
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	56%	95%	達成	57%	57%
		(円)	事務用品購入	-	75,595		-	-
			グリーン購入	-	71,932		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	9%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	841			
		(台)	FiveStarZEAS	-	78			

(*1)電力の削減・・・・・・・・・二酸化炭素排出係数：0.516　　（kg-CO_2／ｋＷｈ、関西電力、2013年調整後排出係数）

(*2)産業廃棄物の削減・・・・施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(＊)水道水の削減・・・・・・・・テナントに入っており、当社での使用実績が把握できないために、取組項目にはあげていないが、節水活動は実施している。

(*3)SA（スカイエアー）比率・・・業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品（FiveStarZEAS）の占める割合

8．環境活動計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

□ 全社合計

◎よく出来た　○概ね出来た　△あまり出来なかった　×全く出来なかった

環境活動計画			総合評価	継続/変更	評価、次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の削減（事務所）	・数値目標	△	□上方修正　■下方修正　□基準見直し	
		・パソコン、コピー機などの省電力設定化	○	継続	R2年に本社（分室）と南大阪・京都営業所に全熱交換器を導入した。快適性を保ちながら省エネ換気が行えるため、電力の削減につなげていきたい。
		・定期的なｴｱｺﾝのﾌｨﾙﾀｰ清掃、交換	○	継続	
		・空調の適温化を徹底（冷房28℃暖房20℃程度）	◎	継続	
		・業務の効率化を図り、残業時間を減らす	△	継続	
	ガスの削減（事務所）	・数値目標	◎	■上方修正　□下方修正　□基準見直し	
		・冬季以外の給湯停止	◎	継続	冬季以外は元栓を切るなどして安全面にも注意している。
		・意識して使用軽減に取り組む	◎	継続	
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	△	継続	
	自動車燃料の削減（事務所）	・数値目標	△	□上方修正　■下方修正　□基準見直し	
		・エコドライブ等の運転方法を励行	○	継続	今後もエコドライブおよび事故防止を推進する。
		・ﾀｲﾔの空気圧を定期的に確認し、適正値の維持	○	継続	
		・社用車の効率的な使用を徹底する	○	継続	
		・不要な荷物を積んだまま運転しない	△	継続	
		・近距離の用務には公共交通機関を利用する	○	継続	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減（事務所）	・数値目標	◎	■上方修正　□下方修正　□基準見直し	
		・会議資料などの書類簡素化、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化	○	継続	今後もペーパーレス化の推進や、適正な分別を徹底する。
		・両面や２枚焼きによる印刷、コピーの徹底	◎	継続	
		・使用済み用紙などの裏紙利用	◎	継続	
		・ﾏｲ箸、ﾏｲｶｯﾌﾟ、ﾏｲ水筒、ﾏｲﾊﾞｯｸﾞを使用する	△	継続	
		・分別回収ﾎﾞｯｸｽにより、ごみの分別を徹底	◎	継続	
	産業廃棄物の削減（建設現場）	・数値目標	×	□上方修正　■下方修正　□基準見直し	
		・機器等の故障時は修理等により長期使用を図る	△	継続	今後も分別廃棄を徹底していく。
		・クレームの発生撲滅に努める	△	継続	
		・分別廃棄を徹底し、できるだけﾘｻｲｸﾙに努める	○	継続	
水使用量削減	水道水の削減（事務所）	・数値目標	◎	■上方修正　□下方修正　□基準見直し	
		・手洗い、洗い物時における節水の励行	○	継続	今後も節水に向けて取組んでいく。
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	△	継続	
環境配慮資材購入	事務用品のｸﾞﾘｰﾝ購入	・数値目標	△	□上方修正　■下方修正　□基準見直し	
		・再使用、ﾘｻｲｸﾙしやすい製品を優先的に購入	○	継続	目標達成に向けてグリーン購入の割合を増やしていく。
		・ｺﾋﾟｰ用紙、印刷物等について再生紙を購入する	◎	継続	
		・環境ラベル認定製品の購入	△	継続	
		・購入計画を徹底し、余剰品の削減に努める	○	継続	
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進	・数値目標	△	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
		・業務用エアコンについては、スカイエア全体に対するFivestarZEASの構成比を10%以上に高める	△	継続	社会的にSDGsの意識も高まっているので、今後もエコ製品の提案を強化していく。
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊（建設現場）	・数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　□基準見直し	
		・法令を遵守し、回収したフロンについては適正な破壊処理を行う	◎	継続	今後もフロンの適正な処理を継続する。
		・毎年、定期的に報告書を作成し、近畿の各府県に提出する	◎	継続	

＊　上方修正：数値目標レベルを上げる、下方修正：数値目標レベルを下げる、基準見直し：基準年度を変える等

9. おもな環境関連法規について

適用されるおもな法規制とその遵守状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	法規制等の名称	要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	ﾏﾆﾌｪｽﾄ管理、ﾏﾆﾌｪｽﾄ交付等状況報告、契約書保管	○
2	フロン排出抑制法	フロン類の適切な回収と破壊処理、並びに知事への報告 簡易・定期点検の記録・保存	○
3	PRTR法	前年度の第１種指定化学物質排出量等の届出	○
4	毒劇法	取扱責任者の選任、盗難・紛失の防止、表示等	○
5	労働安全衛生法	化学物質のリスクアセスメントの実施と結果の周知	○
6	騒音規制法	地域別騒音基準の遵守	○
7	NOｘ・PM法	大阪府条例（自動車流入規制）	○
8	消防法	防火管理者選任、消防計画書の届出	○
9	高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止、40℃以下、警戒標など	○
10	家電リサイクル法	該当する家庭用機器の適正引渡し	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟等は、過去３年間ありませんでした。
また、外部コミュニケーションとして上記期間に、環境に関する苦情はありません。

10. 環境活動

1）環境活動の一環として、全社で社屋近隣の清掃ボランティアを行っています。

■開始：　平成22年（2010年）12月22日から
■範囲：　社屋近隣周辺
■頻度：　毎週1回始業前の朝8：20～8：35

（ごみ拾いの様子）

11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

・コロナ禍の長期化により、ユーザーの設備投資計画も不透明な点が多いが、
常にユーザーの立場で物事を考え、空調機の更新提案などを進めてほしい。

・SDGｓを意識した取組も推進すること。社内では、エコアクションでの
取組内容を再徹底するとともに、社外では、省エネ機器の拡販はもちろん、
サービスや保守、フロン点検など、商品以外でもSDGｓに即した行動を
実践してほしい。

・導入したMicrosoft365*や、Web会議システムなどを有効に活用して、
より効率的な働き方に繋げてもらいたい。

*常に最新のOfficeアプリを提供するクラウド型グループウェアサービス

12. その他環境関連活動

1）その他の取組

■SDGｓ勉強会を実施しました。

今年の2月に、SDGs勉強会を実施しました。
社内でSDGｓを浸透させることを目標に、SDGｓができた経緯やその目的、
持続可能な開発目標である「17の開発目標」、企業がSDGｓに取組むメリット
についての説明が行われました。

「17の開発目標」の中には、ガス・ガソリンの削減や、エコ製品の販売を促進
していくことなど、私たちが日頃から取組んでいるエコアクションにも関連しており、
身近な所からSDGｓに貢献できることを学ぶことができました。

勉強会を終え、今後も社員一人ひとりがSDGｓへの意識を持ってもらえるよう、
全社員にSDGｓバッジを配布しました。
社内においてはもちろんのこと、日常生活においても簡単に取り入れられる行動
から始めていきたいと思います。